

## II 褥瘡対策チーム

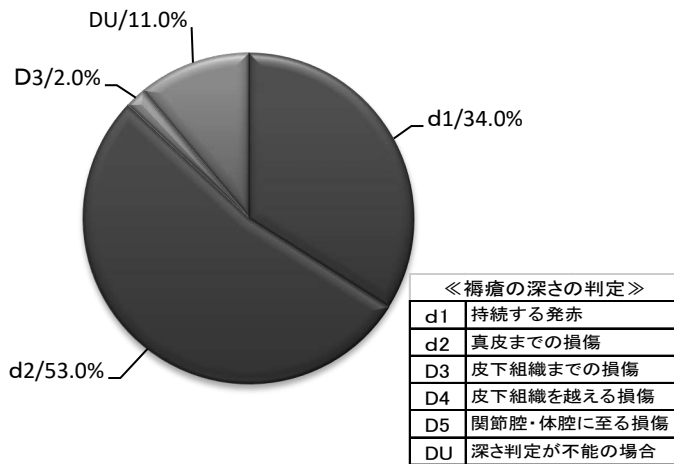


褥瘡対策チームは、新規発生の予防、早期発見と治癒に力を注いでいる。褥瘡発生の原因は多種多様であり、チームの構成は、医師、看護師（皮膚・排泄ケア認定看護師、病棟看護師）、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、事務職員の多職種で構成されている。主な活動は褥瘡回診、褥瘡対策委員会と褥瘡対策チーム連絡会の運営である。

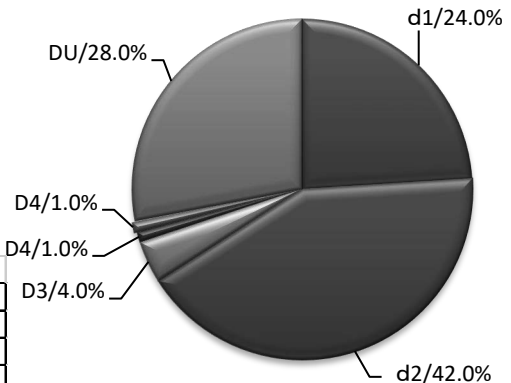
2020年度は褥瘡対策チーム連絡会を通じて、グループワークやミニレクチャーを行った。新型コロナウイルス感染症の影響で集団での勉強会や講習が困難であったが、それぞれ各部署での褥瘡発生のデータのフィードバックを行い知識技術的な向上を目指した。また本年度は新型コロナウイルス感染症重症患者の受け入れもあり、治療目的の腹臥位における褥瘡発生報告が生じたため、当チームスタッフ介入しポジショニング（腹臥位）指導も行った。また褥瘡回診での指導、看護部研修会、褥瘡対策チーム連絡会を通じて、DESIGN-R の評価が正確に行える様に教育活動を行い、褥瘡ケア（予防、治療）の意識が高まるように取り組んだ。

当院は急性医療総合センターを持つ特定機能病院であり、褥瘡ハイリスクな患者さんが多く、褥瘡新規発生は全国平均より高い発生率となっている。啓発活動を継続し、全職員が褥瘡発生の予防に対する認識を高められるように取り組みたいと考える。

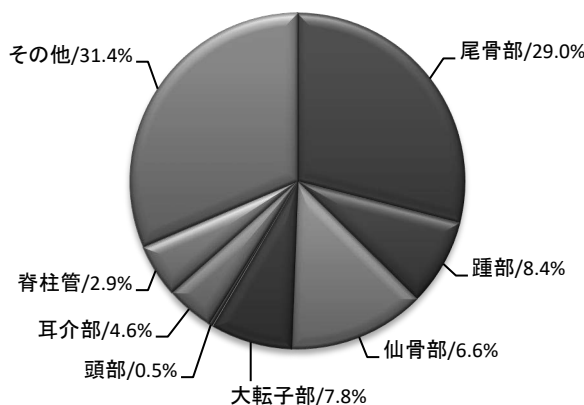
II-1 2020年度深さ別発生率(新規発生褥瘡)



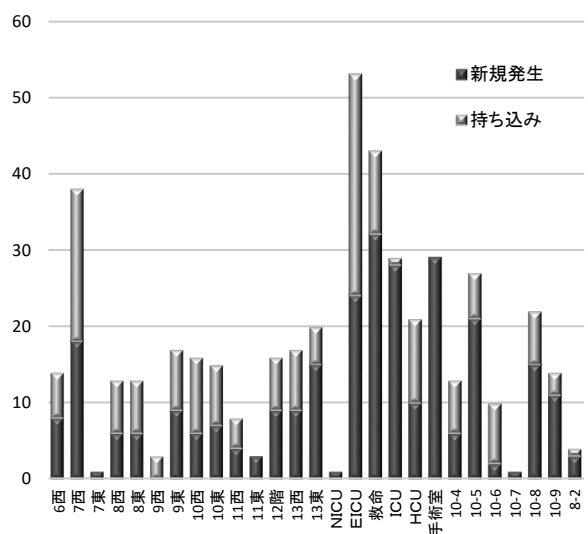
II-2 2020年度深さ別発生率(持ち込み褥瘡)



II-3 2020年度部位別褥瘡発生率(新規発生褥瘡)



II-4 2020年度部署別褥瘡発生状況



※ 2018年度より部署別褥瘡発生状況に変更

II-5 過去5年間の褥瘡発生率

区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
発生率	1.58%	1.27%	1.59%	1.75%	1.80%